

ニコラ・ブラー アーティスト・トークのお知らせ

毎月第3日曜日に開催中のアート&ブレイクファストデーでは、現在、さっぽろ天神山アートスタジオに滞在して、岩見沢での新しいプロジェクトを始めるため、リサーチを行っている、ニコラ・ブラー（フランス）のアーティスト・トークを実施します。



ニコラ・ブラー アーティストトーク

さっぽろ天神山アートスタジオ
2019/5/19/Sun. 11:30-12:30

ニコラ・ブラー ウェブサイト

<http://www.nicolasboulard.com/>

（英語版ポートフォリオ）

<http://www.nicolasboulard.com/Nicolas-Boulard-ENG-2019.pdf>

日時：2019年5月19日（日）

アート&ブレイクファストデー 10:30-11:30頃まで

ニコラ・ブラーのアーティスト・トーク 11:30-12:30頃まで

会場：さっぽろ天神山アートスタジオ 1階 談話交流スペース

参加方法：無料、予約不要

アート&ブレイクファストデーから参加の場合は、朝食を一品持ち寄りをお願いします。アーティスト・トークは無料です。予約も必要ありません。

協力：札幌アリアンス・フランセーズ、NPO法人 S-AIR

助成：Laureat residence sur mesure / Institut Français

主催&問い合わせ先：さっぽろ天神山アートスタジオ（担当/小田井）

ニコラ・ブラーは、2005年にNPO法人S-AIRのレジデンス事業招聘アーティストとして初来日し、札幌市を中心に3ヶ月間の滞在制作活動を行いました。この縁で、2018年の秋に、北海道教育大学岩見沢校による、アートと地域をつなぐセミナー＋公演形式のプロジェクト「空知遊覧2018」におけるフォーラムに招かれ、再び札幌、北海道にやってきました。岩見沢では現在ワイナリー産業が興り注目を集めるようになっていて、ニコラ・ブラーはフランス、シャンパーニュ地方のワインメーカーの出身でもあり、ワイン、チーズ、水、土壌というモチーフを取り上げながら土地、風土に関するプロジェクトをフランスを中心に多く実現してきたことでゲスト・スピーカーとしてそのフォーラム参加しました。

昨年初めて札幌市に近い「岩見沢」の地域と出会い、この場所でなにか新しいプロジェクトを始めたいと考え、さっぽろ天神山アートスタジオが協力してフランスの文化機関（Laureat residence sur mesure / Institut Français）からサポートを得たことで、またまた再びに北海道にやってくることになりました。

札幌を滞在拠点にしなが、何度も岩見沢市街、かつての炭鉱町美流渡や万字地区、毛陽地区など近年移住者の多い場所を訪れ、これらの地域の人々と出会ってきました。同時に、これまでニコラ自身が取り組んできた「ワイン」「チーズ」に関連する事象の調査、拠点にしているさっぽろ天神山アートスタジオ周辺でも日々歩き回り好奇心の赴くまま、素朴な出会いを繰り返しながら撮影を重ねています。今回のニコラの滞在中の活動には、2005年当時のNPO法人S-AIRメンバー柴田 尚（北海道教育大学教授、NPO法人S-AIR代表）と本間 貴士（札幌国祭短編映画祭：No Maps | FILM）もアテンドなどでサポートしてくださいました。アーティスト・イン・レジデンスは「多様な関係を構築する」ものですが、こうしてアーティストの再訪を機に当時のレジデンススタッフのリユニオンが起こるのも面白いですね。

フランスでは、中堅クラスの重要な作家として評価されるまでに進化した（笑）ニコラ・ブラーのユニークなプロジェクトの数々、ここ、北海道で新たに取組もうとしているプロジェクトの構想をお話してもらいます。

さっぽろ天神山アートスタジオでのイベントを中心に、北海道に一時的に滞在し活動を行うアーティストのトークを記録してアートとリサーチセンターの公式ウェブサイトで公開しています。こちらをご覧ください。

アートとリサーチセンター

<https://aarc.jp/about/>

これまでの「調査・活動記録」をクリック

主催&問い合わせ先

さっぽろ天神山アートスタジオ

www.tenjinyamastudio.jp

〒062-0932 札幌市豊平区平岸2条17丁目1番80号（天神山緑地内）

TEL 011-820-2140

e-mail info@tenjinyamastudio.jp

（担当：小田井/直通：080-3234-0228, Email mami@sapporo2.org）